

ムダな温泉建設 24億9000万円 やめて! くらしまでもれ! の声を

党派をこえて、日本共産党に託してください



六月五日は、ムダな温泉建設をすすめ、借金と市民負担を増やす自民、公明、民主の人たちを選択するか、ムダづかいをやめさせ、税金を市民の要求実現に使うために奮闘する日本共産党の人を選ぶのが問われています。

温泉建設を強行すれば
借金は増え、ツケは市民に

あきる野市の借金(市民一人当たり27万円)は、三多摩26市で5番目に多くなっています。

市民の9割近くが温泉建設に反対しているのに、借金をして温泉建設を強行すると、借金はさらに増え、公共料金的大幅値上げなどによって、そのツケが市民負担にまわされることとなります。

つるつるの「出町の温泉」は、4年間で2億円の赤字です。

建設工事はまだ

いまならまだにあいます



温泉建設は、設計もこれから、建設工事もまだ行われていません。いまならまだにあいます。場外舟券売場の誘致計画も市民のみなさんと力をあわせてやめさせました。温泉建設も市民のみなさんと日本共産党が力をあわせればストップできます。

温泉建設すすめる

市が依頼した調査会社の報告で、市も一度はあきらめかけた温泉計画。でも、自民系、公明党、民主党の議員の人たちが、「温泉を掘れ」「温泉つき宿泊施設を」、温泉「大歓迎」などと議会で質問し、建設をすすめているのです。

自民系 公明党 民主党

温泉建設のムダづかいを中止させ
税金を市民のくらし優先に全力—日本共産党

早くも、また値上げの方針



市は、「あきる野市行政改革推進プラン」(3月)を発表。「受益者負担の適正化を図る」として、公共料金の値上げやサービ

- 値上げが予定されているもの
- ◎使用料、手数料
- ◎保育料
- ◎国民健康保険税
- ◎下水道使用料
- ◎その他費用負担を求めるべき事項

6月5日
市議選

温泉計画のムダづかいやめ、くらしを 24億9千万円 の声を示すとき

市民

アンケートのご紹介

この声に応えることが、市政の役割ではないでしょうか？

温泉よりくらしを

莫大な借金をしてまで温泉をつくる必要はない。その前にもっと住民のくらしを考えてみて頂きたい。温泉より毎日の暮らしを快適にしたい。家の年寄りや私がいなくてバスもなく、タクシーを使って移動している。何とかしてほしいと思います。

お金の使い方がちがう

多額の借金で温泉施設をつくりたいなどと時代遅れもいいところ。そんなお金を使うより、もう少しましな使い道を考えてほしい。湯水のようにお金を使うなどもってのほか。

若者が住めるまちに

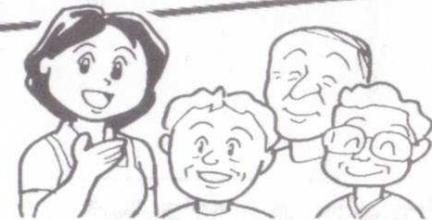
温泉など造っている場合ではない。若者が住みづづけたくなる市にしてほしい。

温泉より保育所を

通学路の整備（危なすぎ）。保育所の充実（倍率をご存じですか）少子化政策をやるなら、これやってもらわないと。税金ばかり上げて子どもを預けるところもないのに、働きにも行けないし、子どもを増やす気にもなれない。

温泉より「るのバス」を

温泉の計画より、市民の生活を考える方が先決。るのバスも1台しかない。立派な市役所を作ったのだから、そろそろ市民のために有効に税金を使用して下さい。



2005年5月号外

日本共産党あきる野市委員会/発行
発行責任者/松平重幸 TEL 558-0718

あきる野民報

日本共産党あきる野市委員会は、次の見解を発表しました。

設計もこれから 今ならストップできます

市は「順調に進んでいます」などと宣伝していますが、温泉計画は、本体設計の予算が今年度ついただけです。

施設建設工事はまだスタートもしていません。それを「順調」などと言うのは、市民の批判を恐れてのいいわけです。

いま市政に問われているのは、「有利な借金」といってムダな箱もの建設をすすめ、膨大な借金をつくってきた古いやり方を改め、住民のために税金を使うことではないでしょうか。

あきる野市の借金（市民一人当たり27万円）は、三多摩26市で5番目の多さです。

「計画」を復活させたのは与党議員

市が依頼したコンサルタントの調査結果が、きびしい内容で、市も一度はあきらめかけた温泉建設。「復活」させたのは与党議員の質問でした。

自民系

- ◆「市長、あきる野市にも温泉を掘れという意見です」（平成13年第4回定例会）
- ◆「温泉つき宿泊施設を計画すべきではないでしょうか」（平成15年第2回定例会）
- ◆「温泉施設はやるべきだというふうに思います」（平成15年第1回定例会）

民主系

- ◆「私たち委員としてもがんばりたいというふうに考えています」（平成16年予算特別委員会）

公明党

- ◆「温泉を、と提案する考えでございましたので大歓迎であります」（平成15年第1回定例会）

し存じですか？

市民のみなさんと

場外舟券売り場も力を合わせて

やめさせました。

こんども全力でがんばります

4年前の場外舟券売り場誘致計画は、市民のみなさんと日本共産党が力を合わせ、ついに市議会を動かして断念させることができました。

こんどは温泉建設の番です。「ムダづかいをやめ、税金をくらしの応援に使いなさい」——日本共産党は、署名運動など計画ストップへ全力でとりくんでいます。

温泉計画をストップさせるには、世論とともに市議選で「ムダづかいやめ、くらし守れ」の声を、日本共産党に託していただくことが大きな力となります。

日本共産党